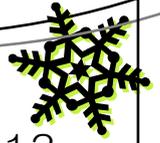


# くめなん

令和4年2月18日  
久米南中学校便り NO.12  
校長 下山 洋



## 3年生受験シーズンに突入！体調に注意して全力を！

3年生はいよいよ受験シーズンに突入しました。1月27日からの私立高校Ⅰ期入試を皮切りに2月9・10日には県立高校の特別入試、そして3月8日・9日の県立一般入試まで気の抜けない日が続いています。

入試を乗り切るとはとても大変なことだと思います。でも大事なことは自分がこれから立ち向かおうとする事柄に対してしっかりと『準備』をしてきたか（今、現在しているか）どうかと言うことです。3年生だけではなく、1・2年生も同様です。今から1年先、2年先を見据えて準備をしていきましょう。

さて、3年生の皆さん、3月の一般入試まで1カ月を切りました。体調に注意して最後までやりぬいてください。家族の方々も学校の先生たちも最後まで皆さんを応援しています。



## 保護者の皆さんへ「承認の5段階」何かの参考になれば

東京成徳大学 田村節子先生の話から

高校受験、体育部の試合や吹奏楽部のコンクールなどいい結果が出れば良いのですが、予想外の結果が出ることもあります。そのような時に次のようなことを意識して声をかけるといいようです。

「承認の5段階ごとに相手を認める」というものです。

- ①「結果承認」：うまくいった（いかなかった）結果を承認する。
- ②「プロセス承認」：結果が出た時に、結果だけでなくそこに至るプロセス（過程）を褒める。「毎日勉強（練習）頑張っていたよね。」などプロセスを褒める言葉がけをする。
- ③「行動承認」：受験以外の行動していたところを褒める。たとえば「体調崩しがちな時期に、体調管理出来て偉かったね。」など受験に関係する学校生活について広く承認する。
- ④「意識承認」：あまり勉強（練習）していなくても、「いつも勉強（練習）のことを気にかけて、やろうとしていたよね」などやろうとしていたことをわかっていたことを伝える。（子どもは「気持ちをわかってもらっていたんだ」ととても嬉しい気持ちになる。）
- ⑤「存在承認」（最も大切なもの）：受験で受かろうが落ちようが、試合で勝とうが負けようが無条件で「いるだけで良い」ということを伝える。



いかがでしょうか、何かの参考にさせていただければ幸いです。コロナウイルス感染症感染者数も高止り傾向で、未だに収束が見えない状況です。学校でも手洗い、手洗い後のアルコール消毒、感染リスクを高めるような活動の制限などできる範囲で指導・実施しておりますが、ご家庭でも感染防止を意識した生活ができるようご配慮をよろしくお願いいたします。

\*マスクはできるだけ**不織布マスク**を着用させるようにお願いします。